

令和7年7月15日

関係各位

四国ファシリティマネジメント協会
会長 山下 幸男

ファシリティマネジメント講演会2025の開催について（ご案内）

平素は、四国ファシリティマネジメント協会の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

ファシリティマネジメント（FM）は、企業や団体にとって施設の最適化や経営効率のアップ、省エネルギー等の効果が期待できることから、厳しい財政状況にある地方自治体においても、地方創生の効果的な手法として注目され、高い関心を持って取り組まれております。

香川県では「香川県新ファシリティマネジメント推進計画」を策定し、「ファシリティ情報の一元化」、「県有資産の効率的な運用や長寿命化」、「維持管理経費の縮減」、「未利用地の処分・利活用の推進」、「安全な県有建物の維持」の5本柱の取組みを推進しています。

今年も香川県との共催で県内自治体、民間企業の担当者の皆様を対象とした「ファシリティマネジメント講演会2025」を別紙のとおり開催いたしますので、ご出席方よろしくお願い申し上げます。つきましては出席者名簿を事務局までメールにてご提出くださいますようお願いいたします。

問い合わせ先

四国ファシリティマネジメント協会

事務局 三好

メール info@s-fma.jp

(別紙)

ファシリティマネジメント講演会2025

- 1 目的 ファシリティマネジメントの意義や具体的な取組みについて、理解を深める。
- 2 主催 香川県
四国ファシリティマネジメント協会（S FMA）
- 3 後援 公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会（J FMA）
- 4 日時 令和7年8月27日（水）13時30分～16時（受付13時）
- 5 場所 Setouchi-i-Base BB スクエア
サンポート高松シンボルタワー タワー棟5階 e-とぴあ・かがわ内
高松市サンポート2番1号
<https://setouchiibase.jp/>
- 6 対象 県内自治体の施設管理担当者
県内民間企業の施設管理担当者
建設会社、設計事務所、大学関係者 など
- 7 講演内容 ・「未来へつなげるFMオフィス推進活動」ー清水建設北陸支店新社屋ー
～第19回日本ファシリティマネジメント大賞（J FMA賞）特別賞～

講師 清水建設株式会社

設計本部 副本部長 堀部孝一 様

設計本部 設備設計部2部 部長 天田靖佳 様

- ・「未来の世代に責任をもつ循環型FM+PPP」
～第19回日本ファシリティマネジメント大賞（J FMA賞）優秀賞～

講師 京都府福知山市

総務部 資産活用課 課長 芦田秀樹 様

総務部 資産活用課

公共施設マネジメント係 係長 吉田俊彦 様

※講演の概要は別添のとおり。

四国ファシリティマネジメント協会

事務局 三好 行

メール info@s-fma.jp

Eメールにて返信ください。

回答期限 8月13日（水）

ファシリティマネジメント講演会2025 出席者名簿

会社名 _____

担当者 _____

電話番号 _____

所属名	職 名	氏 名	情報交換会
(例) 四国FM協会	理事	四国 太郎	出

※参加は無料です。

※新型コロナウイルス感染症対策は、個人の判断といたします。

※講演中の録画・録音はご遠慮ください。

※講演会後の有志による情報交換会（懇親会）を計画します。

後日、場所と時間を参加希望者にお知らせいたします。

講演会の概要

「未来へつなげるFMオフィス推進活動」ー清水建設北陸支店新社屋ー
～第19回日本ファシリティマネジメント大賞（JFMA賞）特別賞～

講師 清水建設株式会社

設計本部 副本部長 堀部孝一 様

設計本部 設備設計部2部 部長 天田靖佳 様

<概要>

弊社北陸支店新社屋の建替え計画では、現状把握と課題抽出を行い、FM オフィス推進のポイントを明確にしました。新社屋は、全部署を間仕切りのないワンフロアに集約し、ABW（アクティビティ・ベースド・ワーキング）やグループアドレスを導入することで、多様な働き方に対応できるワンプレートオフィスを実現。部署を超えたコミュニケーションの活性化や業務効率の向上を図りました。

また、リラックス効果を高める緑の配置や木質化、エルゴノミクスに基づく昇降デスク、サーカディアンリズム対応照明などを取り入れ、「ウェルビーイングを高める健康増進オフィス」を目指しました。さらに、カーボンニュートラル社会の実現を見据え、ZEB化とともに、太陽光発電の余剰電力で水素を生成・蓄積する「CO₂フリー水素利用システム：Hydro Q-BiC®」を先導的に導入。運用実績を社会に発信し、建設分野での水素活用普及にも取り組んでいます。

本講演では、これらの具体的な取り組みや成果についてご紹介します。ファシリティマネジメントやZEB、水素活用に関心のある皆様のお役に立てれば幸いです。

講演会の概要

「未来の世代に責任をもつ循環型FM+PPP」

～第19回日本ファシリティマネジメント大賞（JFMA賞）優秀賞～

講師 京都府福知山市

総務部 資産活用課 課長 芦田秀樹 様

総務部 資産活用課

公共施設マネジメント係 係長 吉田俊彦 様

<概要>

福知山市は、公共施設マネジメントを積極的に取り組んでおり、公共施設等総合管理計画に定めている平成27年度から令和6年度の10年間で民間事業者等への貸付に転用した施設も含めた削減延床面積は、69,508㎡（削減効果額は139億6000万円）に、また、令和元年度から集中的に取り組みを促進してきた民間事業者による廃校の活用は、令和6年度末時点で10校の活用につながっています。

これらの取り組みが令和6年11月8日に開催されました「行革甲子園2024」でグランプリを、12月13日には「日本ファシリティマネジメント大賞—JFMA 賞—」において関西の自治体で初となる優秀ファシリティマネジメント賞を受賞しました。

本市の取り組みについて、これまでの経緯、課題、工夫したこと等をご紹介します。みなさまの今後の業務の一助になれば幸いです。